



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp

H P http://hamasui.ed.jp

会長挨拶

浜水会会長 山崎 晃

浜水会会員の皆様におかれましては、全国でご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、母校及び同窓会「浜水会」の発展のため、物心両面のご高配を頂き厚く御礼を申し上げます。



中国で発生した新型コロナウイルスは4年目を迎えており、感染者もめっきり減少してきました。この3年間学校行事の開催にも影響を与えてきましたが、今年は浜水会の入会式と、3年ぶりの卒業式に参列し、声高らかに校歌を歌うことができました。

私は浜田水産高校で5年間の教育を受け、母校に実習助手、教諭として38年間勤務しました。この間浜水会事務局長、副会長として勤務し、退職するに当たり島根県立浜田水産高等学校後援会を設立し退職しました。そして、浜田市議会議員として浜田水産高校の単独存続のために力を注ぎました。

平成20年9月に第4代目の会長に就任し、4つの目標を立てました。①会員名簿の発行、②広島支部の再度の設立、③浜水会会報「翠香」の発行、④浜水会総会の開催でした。会長として様々な事業に取り組んできましたが、平成23年度部活動で全国大会出場が、男子弓道部団体（8名）、カッター部（18名）、郷土芸能クラブ神楽（8名）が決定しました。浜田市からの激励金は62万円ありました。学校長の依頼を受けて浜水会で募金活動をし、160万円を助成しました。

平成29年度は、創立70周年記念式典が盛大に開催されました。それに合わせて募金活動をしました。①初代丸川久俊校長先生のモニュメントサインの贈呈、②70周年記念誌、③教育施設設備の整備、④浜水会基金等にあてる募金活動でした。

丸川校長先生のモニュメントは校舎前に設置し、前面には水高の校章、顔写真、業績を、裏面には経歴を掲載しました。丸川校長先生は浜田水産高校の創設に尽力され、初代校長になられ67歳から74歳まで7年間校長として勤務されました。70周年記念式典の中で、丸川校長先生の業績を紹介しました。日本プランクトン研究のパイオニアであり、日本海の大和堆の発見や、標識放流をされた海洋学者・水産学者であったことに認識を新たに、水産博士の偉大さをお伝えしました。

浜水会の画期的な事業として、東京混声合唱団にお願いし、校歌・応援歌集を製作し販売したことです。①校歌、②水高賛歌、③黒潮うずまく、④瀬戸の入り江の4曲を千円で販売しました。

1年間の会長の任務としては、入学式・役員会・総会・後援会・体育祭・水高祭・郷土芸能体験学習「浜田民謡教室」・課題研究発表会・浜水会入会式・卒業式等です。その他、阪神大震災後設立した、2府5県の関西浜水会は、3年前に25周年記念式典を開催しました。コロナで中断していましたが、今年度は4年ぶりに大阪のニューオオサカホテルで、10月1日（日）に開催予定です。

ところで、平成27年度に中村洋一副会長の発案で、毎年2月に「浜水を語る会」を開催しました。学校時代の懐かしい思い出などを語って頂きました。20名～30名の参加者があり、乗船実習・部活動・実習・課題研究・水高祭・体育祭等自分が体験したことを自信を持って話をされました。その中で担任の先生、教科担当の先生との関わりも知ることができました。発表者も3期生～57期生の年齢差があり、浜水高時代を異にした卒業生たちの話題を聞いていると、そのときの様子が目に浮かんできて聞いている者も、興味をそそられました。この事業はずっと継続したいものです。

また、広島支部は事務局活動が休止しておりました。私が再度の設立に取り組み、第1回の設立総会を開催し、10周年記念式典を開催後コロナのために中断しております。

今年1月31日（火）に石見文化ホールにて、伝統の課題研究発表会が開催されました。3年生が7班に別れて課題を設定しての1年間の発表がありました。毎年参加しておりますが、年々先輩の意志を受け継ぎ研究発表されている姿に感動しました。ちなみに、私が担当していたときは、主に、海の男になりたい「小型底引き網製作」班とFRP小型和船製作班が思い出されました。石見ケーブルテレビが取材され放映されましたので、卒業生や浜田市民に対して大きなPRになりました。

食品流通科の生徒の皆さんには、水産商品の開発にも頑張ってもらいました。ノドグロふりかけ・カレーバーガー・魚醤・フリーズドライ塩辛・ブリソーセージ・海鮮丼・どんちっちアジ・ブリ缶詰・お魚ドーナツ等の開発もありました。特に、ノドグロふりかけは、大当たりの商品となりました。

以上、縷々述べてきましたように、私は退職後、浜水高後援会副会長・浜水会副会長・浜水会会長としての数々の学校行事や、浜水会事業に関わることをできました。潮の香りのする瀬戸ヶ島の浜田水産高等学校と、実に65年間の係わりを持つことができたことは、人生の宝ものだと思っています。

今年6月開催予定の浜水会の総会の席において、次期会長に私の役割をバトンタッチします。長い間会

員の皆様に大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

終わりに、島根県立浜田水産高等学校と浜水会の益々の発展と、会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますと共に、浜水会発展のための一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



校歌CD

校歌斉唱

校長 白井 明

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校水産教育活動に対しまして、ご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年4月より浜田水産高校第22代校長を拝命しました白井明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

3月1日の卒業・修了式では本科生39名、専攻科生9名が、この湾頭高き学び舎を巣立ち、新たに浜水会の会員となりました。皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

さて、ご存じのとおり、今回の卒業生が過ごした3年間は、日本中が、いや世界中が「コロナ禍」のまっただ中におかれ、生徒たちは入学以来、マスク着用、休校、実習・部活動・学校行事の中止や制限など、今まで当たり前であったことが当たり前にできないという、まさに逆境に立たされた時期でした。生徒たちの心中には、当然、いらだちや不安、不満もあったことだと思います。

しかしながらこのような状況の中でも、生徒たちは前向きに学びに取り組んでくれました。これまで当たり前に、言葉を換えれば自動的に何の疑問も持たずに行ってきた日常の一つ一つのことを「これは必要なことなのか」「これは今できるのか、できないのか、先に延ばせばできるのか」「どうやったらできるのか」「どれがベストなのか、ベターなのか」・・・われわれ教職員はもちろん、生徒たちももう一度考え、一つ一つ答えを出していきながらの3年間となりました。

そうして今年は、体育祭、水高祭を100%とはいきませんでしたが、大部分を復活させながら実施でき、生徒や保護者、そして地域の皆さんの笑顔を見ることができたことは、心からよかったと思えることの



一つでした。「置かれている状況の中で方向性を定め、今できる最善のことを実行する」というこのことを、卒業・修了式の式辞の中で、大海原での航海になぞらえさせてもらいましたが、まさに生徒たちは無事、この航海を乗り切ってくれたと思っています。

卒業・修了式の式辞の中でもう一つ生徒たちに感謝をしたことがあります。それは、生徒たちがこの状況を誰かのせいにしたり、誰かを誹謗中傷したりということが一度たりともなかったということです。日本中の学校現場が心配したのですが、この浜田水産高校ではそのようなことはなく、生徒たちを立派だと思ったことの一つです。

卒業・修了式では、入学以来、一度も機会がなかった校歌斉唱を、マスク越しではありますが実施をいたしました。生徒たちは慣れないながらも体育館に掲げられた校歌の歌詞を見つめながら、懸命にCDで流れる校歌についていこうと頑張っていました。

また、卒業・修了生たちが、皆様とともに肩を組み、声高らかに母校の校歌を歌うことが出来る日を楽しみにし、ご挨拶とさせていただきます。



卒業式での校歌斉唱

令和4年度 浜水会役員会

日 時：令和4年6月25日（土）10:00～12:00

会 場：浜田水産高校会議室

会長、副会長、顧問の三役をはじめ、理事、監査及び事務局計14名の参加により、令和4年度役員会を開催しました。令和2年度及び3年度はコロナ禍により対面での開催はできず、書面票決という形にしておりました。今回は県内在住者のみ出席という制限はありましたが、やっと一堂に会しての理事会とすることができました。役員会は会長挨拶に続き顧問の白井校長から、「現状は県外からの入学生が多くなっている。地元の入学生を増やすために活動を広げていきたい。」という報告がされた後、議事に入りました。

議題

①令和3年度事業報告

事務局より報告、承認されました。

②令和3年度決算・監査報告

会計担当より同窓会会計及び名簿積立金会計の決算報告及び、会計監査より監査報告が行われ、承認されました。

③令和4年度事業計画（案）

事業案については事務局からの提案どおり承認されました。

④令和4年度予算（案）

会計担当より提案があり承認されました。

⑤令和4年度役員（案）

事務局より、今年度浜田水産高校教職員として採用となった卒業生を、事務局員として追加する案が提出され承認されました。

⑥令和4年度浜水会定期総会・懇親会（案）

事務局より、令和4年11月20日（日）に定期総会・懇親会の開催を予定するが、コロナの感染状況によっては中止するとの案が提出され承認されました。（実際に中止となりました。）

⑦その他

- ・カッター部全国大会出場への遠征費補助（10万円）について承認されました。
- ・新聞広告2件（野球部・卒業生激励の広告）の掲載が承認されました。

生の功績を形にしようと提案され、70周年記念事業の1つとして、モニュメントインとなって実現しました。



丸川先生モニュメントサインと桜

令和4年度 定期総会と各支部総会

★定期総会・懇親会★

役員会の欄にも記載しましたが、令和4年11月20日（日）に予定していた定期総会・懇親会は、コロナウイルス感染症の流行により中止となりました。本来は令和2年度に開催すべき定期総会が、3年続けて中止という異常事態となり、総会での審議事項が宙に浮いたまま止まっています。

年度末に定期総会・懇親会の開催について三役と事務局で協議した結果、現在の感染状況であれば令和5年度の開催は可能と思われるので、できるだけ早い時期に定期総会・懇親会を持とうと計画しています。日程としては6月25日（日）を予定しているので、ぜひ多くの会員の皆様に出席して頂きたいと思えます。

★広島支部総会・懇親会★

広島支部総会・懇親会も令和元年度に開催して以来中止となっています。思い起こせば平成30年7月6日から7日にかけて広島地方は豪雨に見舞われ、大きな被害が発生しました。広島支部総会・懇親会の開会も危ぶまれる状況でしたが、予定どおり7月8日行われるということで、事務局からも再開したばかりの高速バスで広島市へ向かったことがありました。大切な事業である支部総会・懇親会を守りたいという、広島支部の皆様の意気を感じた総会・懇親会でした。しかし、この思いもコロナには勝てず、今日まで中断となっています。

今年度は広島支部総会・懇親会も開催の方向で検討されているようです。開催された場合にはぜひ参加したいと思っています。

★関西浜水会総会★

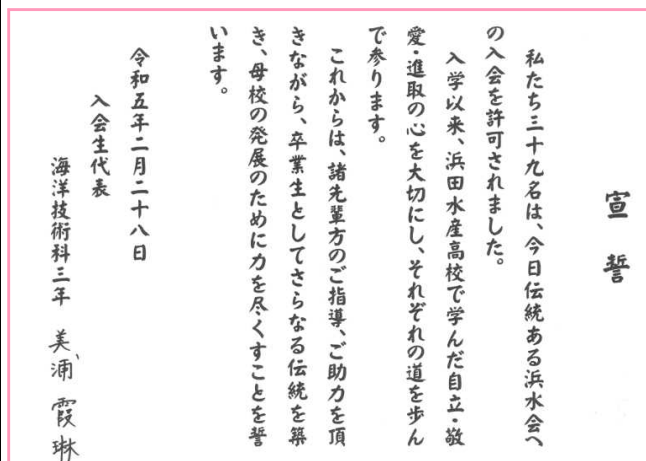
関西浜水会総会・懇親会も広島支部同様、コロナにより令和元年9月29日の第25回以降開催できていません。かつて、この会において丸川久俊初代校長先

生のように、本部事務局の事業にも大きく寄与して頂いた関西浜水会の総会・懇親会ですが、会長挨拶にもあったとおり、本年10月1日（日）開催予定で動き出しております。コロナウイルス感染者が今後増加することなく、順調に総会・懇親会が行われ、関西浜水会の皆様に4年ぶりにお目にかかれることを楽しみにしています。

浜水会入会式

令和5年2月28日（火）第73期生の浜水会入会式が開催されました。この日から海洋技術科20名、食品流通科19名、合計39名の卒業生が新会員となったわけです。山崎会長からの歓迎と激励の言葉をうけ、入会生を代表して海洋技術科3年美浦霞琳さんが「卒業生としてさらなる伝統の継承を担い、母校の発展のため力を尽くすことを誓います。」と力強く宣誓してくれました。卒業後は浜水会の会員として支えてくれることでしょう。

卒業生・専攻科修了生の進路先事業所及び進学先学校の名称を掲載しておきます。もし近くにおりましたら面倒を見てやって下さい。



【令和4年度卒業生・専攻科修了生進路先】

科	進路	事業所・学校名	地域	業種・学科等
海洋技術科	就職	航空自衛隊		特別職国家公務員
		広洋海運(有)	広島	内航自動車運搬船
		海洋技術開発(株)	東京	海洋資源調査
		宇部興産海運(株)	山口	内航セメント運搬船
		大洋エーアンドエフ(株)	東京	マグロ延縄漁船
		(株)鈴昇	静岡	金属加工
		(株)大磯	浜田	水産食品加工
		太陽ケーブルテック(株)	江津	電線製造
		(有)フロアーム	浜田	2輪販売修理
		専攻科	浜田	漁業科・機関科
	進学	日本さかな専門学校	神奈川	海洋生物研究
		清水海上技術短期大学校	静岡	専修科
食品流通科	就職	マルハマ食品(株)	浜田	食品製造
		(有)江木蒲鉾店	浜田	水産食品加工
		(株)ケー・エフ・ジー	浜田	飲料製造
		山崎製パン(株)	広島	パン製造
		(株)一門会「串かつだるま」	大阪	飲食業
		(株)大磯	浜田	水産食品加工
		(株)イメージサロン カッツ	広島	美容業
		ドクターリセラ(株)	江津	美容商材販売
		(株)共立メンテナンス	出雲	ホテル・旅館業
		M Craft	浜田	建設業
	進学	美作大学短期大学部	岡山	幼児教育学科
		広島情報ビジネス専門学校	広島	総合ビジネス科
		四国大学短期大学部	徳島	音楽科
		HAL東京	東京	IT学部
		広島工業大学	広島	情報学部
		広島コンピュータ専門学校	広島	ビジュアルデザイン科
専攻科	就職	大洋エーアンドエフ(株)	東京	巻き網漁業
		山友汽船(株)	兵庫	外航・船舶管理
		鹿児島船舶(株)	愛知	内航RORO船
		津軽海峡フェリー(株)	北海道	フェリー
		神原タグマリンサービス(株)	広島	曳船
		内海汽船(株)	愛媛	内航タンカー
		大柿海運(株)	広島	内航タンカー
		宮崎産業海運(株)	大分	内航RORO船

令和4年度 学校の様子

入学式：4月11日(月)

今年度も在校生(2・3年生)は参列せず、来賓もPTA会長のみというコロナシフトの入学式となりました。君が代と校歌斉唱もなく、代わりにCDから流れる曲を参列者全員で聴きました。生徒にとっては中学生の頃からコロナシフトの行事が多く、あ



マスクを付け、校歌斉唱のない入学式

たり前になっているのかも知れません。早くコロナ前の社会に戻り、学校生活も我々の思う普通になることを願わずにはおられません。

先輩と語る地元企業職業セミナー：

6月14日(火)

卒業後浜田・江津地域の企業で働く先輩を学校に招いてセミナーを行い、地元企業への理解と就職を推進しようとする事業を行っています。部活の先輩がやってきたブースは大変盛り上がり、会話も進んでいました。今回は地元スーパーで働く卒業生の、挫折を繰り返しながらそこから立ち直り、現在の自分を築いたという話がとても印象に残りました。



金融機関に勤務する卒業生のブース

学年別活動：7月4日(月)～8日(金)

以前の本校には、夏休み前に「遠泳」という学校行事がありました。よく覚えておられる方も多いのではないのでしょうか。平成の前半までは形を変えながら続いていましたが、現在はこの期間に学年別活動として、各学年で別々の事業に取り組んでいます。1年生は海洋訓練(カッター漕法)を主とした活動で海浜清掃ボランティアも行っています。2年生は地元企業へのインターンシップ、3年生は集中進路活動期間となっています。生徒たちは教室の授業から離れた活動なので、当然のごとく生き生きとしています。



1年学年別活動「海浜清掃ボランティア」

体育祭：9月4日（日）

前年は地元通学生の家族2名までが観戦可という制限がありましたが、本年は在学生の家族2名まで観戦可となり、県外の保護者もたくさん来校していました。学校活動にはコロナによる様々な制限がありましたが、少しずつ緩和されてきたように感じました。

体育祭のプログラムも時間短縮のためコロナ前より少なくなっていますが、生徒たちは高校生らしいアイデアを出しながら楽しんでいました。



応援合戦の様子、練習の成果です。

水高祭：10月22日（土）・23日（日）

島根県の感染症対策に基き、実習製品販売を行う体育館への入場者数に上限を設け、また校舎内での外来者の動線を制限したりと、工夫しながら無事開催することができました。日程も2日間に戻して3年ぶりの一般来場者への販売ということで、予想以上の来場者となり、県外生保護者さんの中にはわざわざ関東から来られた方もいました。「水高祭って本当はこんな感じなんですね。」と嬉しそうに話す3年生の姿に、生徒たちにとって高校時代のよい思い出が1つできたと我々大人が安堵してしまいました。それと同時に、コロナによる不条理を最も被ったのが生徒たちだと感じざるを得ませんでした。



鮮魚の販売コーナー



入場者制限をした上での実習製品販売

課題研究発表会：1月31日（火）

令和2年度、3年度と校内でのオンライン発表会となっていたが、今年度は石中央文化ホールを会場とし、3年ぶりに来賓の方や保護者、地域の方々を招いて実施できました。

3年生は各科それぞれ4グループに分かれ、以下のとおり1年間の研究成果を発表しました。

【食品流通科】**1. 瓶詰め班**

発表題目「瓶詰づくり Part 4」

内容：ツナマヨの材料配合を工夫しながら瓶詰めの試作を行う。試作品の他の料理への応用と商品化の可能性を探る。

2. 新巻鮭班

発表題目「新巻鮭のさばき方・おいしい食べ方の発信」

内容：人気実習製品である新巻鮭の美味しいレシピ集を作り、QRコードでダウンロードできるようにする。

3. 浜田冷麺班

発表題目「冷麺からインスタント食品への挑戦」

内容：浜田の特産品を目指し、B級グルメ「浜田冷麺」を開発する。また、これを応用したフリーズドライ食品も合わせて開発する。

4. フリーズドライ班

発表題目「水曜から夜更かし」

内容：SDGsのコンセプトに則り、タコ燻製製造時の煮汁再利用を図り、タコ飯の試作と商品化の可能性を探る。

【海洋技術科】**1. 漁業班**

発表題目「SUIKO PROJECT 2022」

内容：浜田沖海域において、つり漁業による漁業資源調査と、海洋環境保全にむけた植林活動を行う。

2. ものづくり班

発表題目「遊具の修理とROVの作製」

内容：市内保育園から依頼された遊具修理に、実習で得た技術を活かす。また、先輩から引き継いだROV製作に取り組む。 3. 養殖班 発表題目：「フリー配偶体技術を利用したワカメ養殖の研究」 内容：U・Iターン漁業就労者の収入確保のため、ワカメ養殖用種糸が提供できるよう、技術の継承を図る 4. 資格取得班 発表題目「資格取得をとおして」 内容：1年間の資格取得に向けた学習から課題を見つけ、克服するための勉強法を考える。	男子団体予選（20射） 9中 予選通過（ベスト16） 決勝トーナメント1回戦（20射） 浜水 11－11 玉野商工（競射の結果敗退） ◎西部地区新人大会（9/17：益田市弓道場） 男子・女子ともに入賞者無し ◎県選手権大会（10/29.30：江津工業） 女子個人（12射） 河野悠樹 7中 第7位 中国新人大会出場権獲得 他は男子・女子とも入賞者無し ◎中国新人大会（11/19：広島県立総合体育館） 河野悠樹 3中 入賞できず 【カッター部】 ◎全国水産・海洋高等学校カッターレース大会予選（6/18：浜田市） 第1位（12分01秒82） 全国大会出場権獲得 ◎全国水産・海洋高等学校カッターレース大会（7/22～24：愛知県蒲郡市） 選手がコロナウイルスへ感染し、出場辞退 【写真部】 ◎春季コンクール（6/9：サンマリン浜田） 益原出帆 特選「世界の終わりみたいなタイヤの表面」 入選「メモ」「地から見上げて」「Ground」 池田恵梨 特選「ひょっこり男子」 大橋綾音 入選「船と橋」 ◎秋季コンクール（11/2：仁摩農村環境改善センター） 大崎綾音 特選「鳥の集会」 入選「ナニがいる」 小松 樹 特選「小人世界」 池田恵梨 入選「なんだ？」「また来たか・・・」 下野良牙 入選「風車」
部活動の結果 【野球部】 ◎石見地区高校野球大会（5/28.29：大田市民球場） 1回戦 浜水・江津合同 7－6 大田 2回戦 浜水・江津合同 2－12 明誠 ◎全国高等学校野球選手権大会島根県予選（7/13：松江市野球場） 1回戦 浜水・江津合同 0－7 開星 【卓球部】 ◎中国高校卓球選手権島根県予選（4/28～30：鹿島総合体育館） 男子2名出場 入賞者無し ◎県総体（6/2～4：県立浜山体育館） 男子7名出場 入賞者無し ◎県高校選手権大会（9/9～11：島根県立体育館） 男子6名出場 入賞者無し ◎県高校新人大会（11/4～6：益田市民体育館） 第1試合 2－3（対 飯南） 第2試合 0－3（対 松徳学院） 【ハンドボール部】 ◎県総体（6/3.4：江津市民体育館） 男子1回戦 浜水 7－33 松江南 【弓道部】 ◎中国高校選手権島根県予選（4/23.24：大田高校） 女子個人予選・決勝（12射） 落合南海 10中 優勝 中国大会出場権獲得 男子団体予選（40射） 19中 予選第5位 中国大会出場権獲得 ◎県総体（6/2～4：出雲高校） 個人戦 男女とも入賞者無し 団体予選（40射） 女子 9中 予選敗退 男子 23中 予選第4位（男子総合第4位） ◎国体最終予選（6/11.12：浜田水産高校） 落合南海が女子予選へ出場、第1位となり島根県国体少年女子へ選出 ◎中国大会（6/17～19：鳥取県立武道館） 女子個人（8射） 落合南海 5中 入賞できず	事務局より コロナが消えたわけではありませんが、世の中が元に戻りつつあるのは日々感じるところです。国中を覆っていた様々な制約が解除されていき、それに伴って浜水会の事業も再開されていくことでしょう。今後コロナの復活がないよう願うばかりです。 現在の学校現場が教員不足にあるのはマスコミを通して皆さんもご存じでしょう。本校も海洋技術科職員が欠員となっています。事務局の職員は全員海洋技術科所属であるため、必然的に皆で忙しくしており、事務局の諸作業も円滑に進んでいるとは言えない状況です。そこで皆様にお願ひがあります。誰か浜田水産高校の教員（海洋技術科海洋コース、以前の漁業科）になってもよいという方がおられたら紹介して下さい。学校あてに連絡が頂けるととても助かります。よろしくお願いいたします。